

ART 患者における皮膚自家蛍光値(AF 値)の低減を目的とした吸着炭サプリメントと食事指導の取り組みの有効性の検討

室谷有紀¹, 友崎薫², 森本義晴³

¹HORAC グランフロント大阪クリニック

【目的】

近年、終末糖化産物(AGE)と生殖補助医療(ART)成績の相関を示した報告がなされており、AGE は従来の ART 治療では妊娠に至らなかった症例への新たなアプローチとして期待される。AGE は不可逆的糖化マーカーとして知られているが、近年では特定の食品成分や生活習慣改善による低減効果も報告されている。中でも高純度セルロース由来の純炭は、グリセルアルデヒド由来 AGE の吸着活性を有し、健常者での皮膚自家蛍光低減や慢性腎臓病患者での血中ペントシジン低減が知られている。本研究では ART 患者における純炭含有サプリメント及び食事指導による AGE 低減効果と ART 治療に及ぼす影響について検討した。

【対象と方法】

AGE は TruAGE スキャナーを用いて皮膚自家蛍光値(AF 値)を測定した。研究に同意を得た ART 治療中女性のうち、AF 値が年齢標準値より高かった 36 例(31-44 歳、平均 38.7 歳)を対象とし、純炭含有サプリメント(吸着炭 600 mg/日)を 2 か月間服用、開始前後の AF 値を比較した。また開始時には食事指導を行い、開始前後で生活習慣に関する自記式アンケートを実施し食生活スコアとして点数化した。

【結果】

サプリメント服用前後で AF 値に差は認められなかった(244.3→242.0)。しかしながら、開始後に妊娠に至った群では AF 値が有意に低下し(239.5→226.0, $p < 0.05$)、食生活スコアも改善していた(43.1 点→44.9, $p < 0.05$)。一方、妊娠に至らなかった群では食生活スコアは高い状態を維持していたにも関わらず(43.8 点→44.3)が AF 値は有意に上昇していた(247.6→261.0, $p < 0.05$)。

【考察】

ART 治療により妊娠に至った群では AF 値が低下しており、AGE 低減に働きかけることは、ART 治療患者において有益に働くことが示唆された。今後の課題としては AF 値が低下し難い患者に対してどのようにアプローチしていくかを検討していく必要があると考える。